

11月13日（水）

本日は東広島市八本松にある広島県教育センターと広島市の白島小学校を訪問しました。



午前中は、教育センターにて当センターの設立の概要や職務概要に関する説明がありました。それによりますと、当センターは広島県教育委員会事務局が所管しており、主な職務として現職教員に対する行政研修（初任者研修や10年者研修など）の実施をしているそうです。

センターについての説明の後、簡単な質疑応答を経てセンター内を見学しました。幸運にも当日は初等学校教員に対する初任者研修が実施されており、その様子を研修員は興味深そうに観察していました。指導主事の先生と思われる方が初任者と思われる先生を個別に指導されている場面でした。大学における教員養成に比べると、教育センターでは個別指導も充実しているように見えました。

また、教育センターの見学では、研修時の教材研究や授業準備ができるように、理科や技術家庭科に用いられる実習室が整備されており、研修するにふさわしい環境を備えていることも分かりました。



午後の白島小学校訪問では、1年生から6年生までの各クラスを見学することができ、全校児童の歓待を受けた研修員はとてうれしそうでした。授業見学のあとで同小学校の校長先生による講義がおこなわれました。学校創設の歴史や概要に加え、現在特に力を入れている先生方の働き方の改善に関する取り組みなど、教員をめぐるワークロードの過多に関わる問題をどのように解決しようとしているかについても紹介されていました。こうした学校訪問を通じて、研修員は日本の小学校における教育の現状について理解を深めることができたようでした。